

令和5年2月17日

産山学園保護者様

産山村立産山学園

P T A 会長 碓井 貴博

校長 今村 貴文

令和4年度学校評価アンケート（2学期）集計結果と考察について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。

さて、2学期に実施しました学校評価アンケートでは、保護者の皆様からたくさんのご回答をいただき、誠にありがとうございました。

実施させていただいたアンケート結果と考察についてお知らせいたします。

この結果を役立て、保護者の皆様、地域の皆様との連携を深めながら、今後の本校の教育活動を取り組んでいきたいと思っております。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

課題（●）と対策（◎）	
●学校は楽しいの項目で学園生・保護者の中で「あてはまらない」を選択した割合が増えている。（どちらかといえばあてはまらない、あてはまらないの割合：学園生9%、保護者11%）	◎学校が楽しくない理由をお互いに考えながら、学園生に寄り添っていく必要がある。
●学習内容をていねいに教えているの項目で学園生のあてはまるの評価が下がっている。（1学期85%、2学期56%）	◎12月の新型コロナウイルス第8派の影響により、学習計画が遅れた部分を現在少しずつ取り戻している。
●家庭での課題以外の学習について学園生及び保護者の評価が低い。（どちらかといえばあてはまらない、あてはまらないの割合：学園生30%、保護者37%）	◎学園生が自ら目標を持ち、家庭学習に積極的に取り組むためにも保護者と一体となって推進する必要がある。
●将来の目標や夢について学園生及び保護者の評価が低い。（どちらかといえばあてはまらない、あてはまらないの割合：学園生21%、保護者38%）	◎学園生が将来の自分の姿を描いていけるように、日頃から学園生に声をかけていくなど、道徳や特別活動（学級活動）等を通して、夢や目標を育む学習プログラムを必ず位置づける。
●昨今話題となっている SNS による「命の問題・いじめ不登校」に関して、保護者の評価が依然として低い傾向にある。（あてはまるの割合：学園生82%、保護者32%、職員81%）	◎PTA 全体会や学級懇談会等を通じて、命の大切さやいじめ不登校に関する意見交換等を行いながら、学園生を中心に据えて、よりよい方策を講じていく。
●上記5つの項目以外は、学園生、保護者、職員の評価にあまり差はないが、あてはまるの割合は、依然として保護者が低い傾向にある。（五者連携、学校情報公開以外の項目）	◎今後も連携強化を図り、保護者のご意見を真摯に受け止めながら学校教育を進めていくことが大切だと考えている。

※「相談にのる」の項目で、学園生の評価が1学期より上がったことは、全職員で力を注いだところであったので大変うれしく思っている。今後も安心・安全な学校づくりに全力で努めていく。

その他の記述欄にいただいたご意見

(回答率 94.2%)

- ・子供から話を聞く中で、友だち関係のトラブルなど先生方が一緒に考えてくださっています。ありがとうございます。
- ・学校全体がで子供を見守る様子や子供が楽しく学園生活をしていると感じています。学校での出来事を子供がよく話してくれます。楽しく学園生活が送れていることに感謝しています。
- ・学校から帰ってきたら毎日友だちと運動場で楽しく遊んでいる話を聞いています。楽しい学校生活を送らせてもらい、ありがとうございます。
- ・朝起きが億劫な時があり、学園に行きたくないと思う時があるようですが、朝ご飯を食べるとスイッチが入って元気に登校します。帰ってくると学園での出来事を楽しそうに話してくれるので、こちらも嬉しくなります。先生や友だちのお陰だと思っています。ありがとうございます。
- ・学校から出された宿題はやっているのですが、それが終わると動画を見ます。復習は？と言っても動画ばかり見て困ります。
- ・少しずつSDGsに沿った校則改善も進めていただきたいです。
- ・お金の勉強を授業に取り入れた方がよいのではないかと思います。
- ・子供の意志だけでなく、保護者の話も聞いて勉強してほしいです。
- ・進路に向けたサポートなどありがとうございます。
- ・先生方には毎回、親身に私たちや子供の話を聞いていただき感謝しています。産山学園だったので、不登校にならずに登校できたと思います。ありがとうございます。